

各委員からの御意見及びそれに対する考え方について

1. 資料3「容量市場について」

委員からの御意見

【安藤委員】

事務局案に異論なし。ただし、次年度以降の議論の際には、実需給は4年後ということを踏まえれば、インフレ率については4年後も見据えた方がより精緻なものになるとの考え方もあるのではないかと。

（ご意見への考え）

実需給年度である4年後のインフレ率については、応札後の4年間の中で上振れも下振れも考えられますが、応札時点で需要曲線を確定しておくことが必要なため、参照する実質コストの算定年からNet CONEの算定年までを対象として、インフレーション率を反映することとしています。

なお、今後においては、引き続き広域機関とも連携しながら市場や事業者の状況を把握して参りたいと考えております。

※その他の委員・オブザーバーの皆様においては、事務局案について、異論なしの旨、ご回答いただいております。

<事務局のコメント>

・委員、オブザーバーの皆様には、ご確認いただきまして感謝申し上げます。引き続き、広域機関との連携を図りながら今年度のメインオークション開催に向けて、準備を進めて参ります。

<大橋座長取りまとめ>

・2029年度メインオークションにおける需要曲線の前案をご確認いただきました。委員・オブザーバーの皆様にご賛同いただきましたので、こちらは、今後、広域機関での決定および公表プロセスに進んでいただくよう宜しくお願いします。